

NI Eワークシート中～高校

書いたのはこの家のことだよ」とクリセル氏は教えてくれた。私は急いで陰翳礼讃を読んだ。「身分不相応な大金を投じて建てた家」で煽風器から電話、ランプや障子、それにストープと、あ

関西学院大3年生から2年間、私は木曜日の夕方、阪急電鉄の岡本駅から山側へ10分ほどのところにある一軒家を訪ねていった。カネディアン・アカデミーで校長を務めた後、大学で英文学を教えていたジョージ・クリセル氏と知り合ったのは、私が所属していた英会話クラブが関わっていた、弁論大会の審査員を頼んだのがきっかけ。昼間は大阪大や甲南大で教えたが、木曜日の夜は在留のアメリカ人やイギリス人に日本史を教えていた。私が将来、アメリカに留学することも考えていると伝えると、その授業に無料で参加するのいい、と誘ってくれたのだ。その一軒家は昼間でも薄暗く、建築に全く知識がない私でも、何かが違うなと思わせる家だった。■が『陰翳礼讃』で

随想

鎖瀾閣と私

横田 増生



りとあらゆる物にこだわり抜くという家道楽の話。最も印象に残っているのは1階の壁裏に忍者が通るような隠れた階段があり、そこから2階に上がれることだった。1階の食堂で毎週10人前後の生徒が集まり、授業が行われた。私にとって日本史の知識を得るためというより、ネーティブが話す英語の速度についていく訓練の場所となった。その後、予備校勤めやアメリカへの留学、東京の業界紙に就職するなどして、クリセル氏とは連絡が間遠くなっていった。1995年、阪神・淡路大震災が起きた。私はクリセル氏に何度か電話をかけるも通じなかった。谷崎が建てた家は全壊していたのだ。被災したが、クリセル氏とその奥さんは無事で、その後、2人でモロッコに移り住み、クリセル氏は2004年に鬼籍に入った。そのニュースをネットで知った。■が建てた家は今では「鎖瀾閣」と呼ばれ、現在はVR（仮想現実）映像で再現されている。(ジャーナリスト)

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄に入る作家名を次の中から選んで、記号で書きましよう。

- ㊶ 芥川龍之介 ㊸ 島崎藤村
- ㊷ 川端康成 ㊹ 谷崎潤一郎

2 傍線部の意味を次の中から選んで、記号で答えましよう。

- ㊶ 賞を受賞した ㊸ 亡くなった
- ㊷ 国籍を取得した ㊹ 仏門に入った

3 次の「陰翳礼讃」の一部を読んで、下の問いに答えましよう。

私は、数寄(すき)を凝らした日本座敷の床の間を見る毎に、いかに日本人が陰翳の秘密を理解し、光りと蔭との使い分けに巧妙であるかに感嘆する。(中略)われらは落懸(おとしがけ)のうしろや、花活(はないけ)の周囲や、違い棚の下などをうめている闇を眺めて、それが何でもない蔭であることを知りながらも、その空気だけがシーンと沈み切っているような、永劫不変の閑寂(かんじゃく)がその暗がりを感じているような感銘を受ける。「陰翳礼讃」

問い: 傍線部はどんなふう巧妙ですか。次の文の空欄に、「陰翳礼讃」から適語を選んで入れましよう。

床の間の を何でもない知りながらも、その空気を、どれだけ時間がたっても変わらない が支配しているように感じる。

NIEワークシートのこたえ（2025年8月14日公開）

◆ワークシート「陰翳礼讃の家(国語)」
2025.8.13付 夕刊 1面 解答

1 ㊦

2 ㊦

3 蔭(闇) 閑寂